



Kaspersky Endpoint Security for Linux

Linux ベースのサーバーおよびワークステーションの保護を高い信頼性で実現

高性能サーバーや費用対効果の高いワークステーションの OS として、Linux はビジネスの主な地盤となっています。多様化するビジネスクリティカルなシステムでも Linux が利用されるようになってきているため、急速に進化する脅威から Linux ベースのサーバーやエンドポイントを保護することが極めて重要な課題になっています。

Kaspersky Endpoint Security for Linux は、幅広い Linux プラットフォーム上で、あらゆるタイプのサイバー脅威に対抗するための次世代型の保護機能を提供します。多層型保護を展開し、他のアプリケーションやシステム全体のパフォーマンスへの影響を最小限に抑えます。また、Kaspersky Endpoint Security for Business ライセンスに含まれており、当社の包括的製品ポートフォリオでご利用いただけます。

規制要件の遵守

機密データの安全性は、あらゆるビジネスにとってのセキュリティの最重要課題です。Kaspersky Security for Linux は基本機能によってその対応を可能にしており、セキュリティを強化し、PCI DSS や SWIFT 利用要件などの重要な指針に準拠するのに役立ちます。

Kaspersky Security Network

Kaspersky Security Network は高度な分散インフラストラクチャであり、保護コンポーネントのパフォーマンスを向上し、誤検知のリスクを最小限に抑えながら、新しい脅威にかつてない速さで対応します。

スイート製品に含まれるアプリケーション - 隠れたコストは発生しない

Linux ベースのデバイスの保護機能である Kaspersky Endpoint Security for Linux は、Kaspersky Endpoint Security for Business やその他の製品に含まれるアプリケーションの 1 つです。追加のコストは不要で、単一のスイート製品ライセンスだけで、IT 資産の保護に必要なすべてが揃います。

特長

次世代型の保護

Kaspersky のプロアクティブなセキュリティ技術は、脅威がエンドポイントに到達する可能性を最小限に抑え、Linux 環境内に侵入しようとする脅威を特定してブロックします。Linux コンピューターを標的とする脅威を検知、ブロックするだけでなく、Linux ノード上や Linux ベースのファイルストレージ内部に身を潜める Windows や Mac をベースとした脅威も監視します。

高いレベルの使いやすさとパフォーマンス

このアプリケーションは、他のプログラムやシステム全体のパフォーマンスへの影響を最小限に抑えるよう、特別に設計されています。グラフィカルユーザーインターフェイス (GUI) は主要デスクトップ環境に合うようにデザインされており、この GUI と強化された コマンドライン管理機能を併用することで、タスクの実行や日次レポート作成が簡単になります。

単一の管理コンソール

すべてのセキュリティ機能を単一の管理コンソール「Kaspersky Security Center」により簡単に管理できます。またこのコンソールで、他の Kaspersky のセキュリティアプリケーションも集中管理します。

機能

多層型保護



ゼロデイ攻撃からの保護

Kaspersky Security Network から得られるクラウド支援型脅威インテリジェンスによって、Linux やその他の OS の脅威に対して、ほぼリアルタイムで迅速に検知、対応できます。また、誤検知やワークフローの中断も最小限に抑えられます。



ふるまい検知

ふるまい検知はプロアクティブ防御を行うもので、不審なふるまいパターンを特定、抽出して、高度な脅威からシステムを効果的に保護します。



ネットワーク脅威対策

ネットワーク脅威対策は、ポートスキャン、サービス妨害攻撃、バッファオーバーランなどのネットワーク上の脅威を阻止します。ネットワークアクティビティを常に監視し、不審なふるまいを検知した場合は、事前に定義した対応を行います。



ウェブ脅威対策とフィッシング対策

ウェブ脅威対策は、Web トラフィック内の脅威についてほぼ 100% の脅威検知率を実現し、有害なスクリプトをブロックします。ウェブ脅威対策は、フィッシングサイトへのアクセスを試みる Web トラフィックがないかを監視し、試みがあった場合はそのサイトへのアクセスをブロックします。フィッシングの脅威や悪意のあるアドレスではないか Web ページ上のリンクをチェックするために、Kaspersky Endpoint Security では定義データベース、ヒューリスティック分析、および Kaspersky Security Network のデータが利用されます。



デバイスコントロールによる攻撃への露出の削減

デバイスコントロールによって攻撃経路を削減し、ユーザーの安全性と、企業のセキュリティポリシーへの準拠状態を維持します。



ランサムウェア対策

独自のアンチクリプターメカニズムによって、同じネットワーク上の別のマシンで実行中の悪意のあるプロセスが共有リソース上のファイルを暗号化する処理をブロックできます。



ファイル変更監視

ファイル変更監視によって、重要なファイルやディレクトリの不正な変更を追跡することで、システムファイル、ログ、重要なアプリケーションの整合性を保証することができます。

株式会社カスペルスキー

製品情報:

www.kaspersky.co.jp/small-to-medium-business-security/endpoint-linux

ご購入相談窓口:

jp-sales@kaspersky.com

www.kaspersky.co.jp

2019 AO Kaspersky Lab. All rights reserved.
登録商標およびサービスマークは、それぞれの所有者に属しています。

最適化されたパフォーマンス



負荷分散

内蔵のリソース負荷分散と最適化されたスキャン技術(信頼できるプロセスを除外できるオプション付き)によって、リソース消費率を抑えながら全体的なパフォーマンスを向上します。



fanotify のサポート

fanotify をサポートしており、追加モジュールをコンパイルしなくても、アクセス時点のスキャンをカーネル上で実行できます。

セキュリティ管理の枠を越えて



ファイアウォール管理

Linux OS 内蔵のファイアウォール設定を構成、管理することができます。このアプリケーションから一元的に、ファイアウォールのルールやポリシーの作成、ネットワークアクティビティログやセキュリティインシデントの確認ができます。



グラフィカルユーザーインターフェイス

GUI は Linux 向けに最適化されており、この GUI と強化されたコマンドライン管理機能を併用することで、タスクの実行や日次レポート作成が簡単になります。



中断のない運用

ワークステーションやサーバー上の OS アップデート後に、製品の再インストールやフレッシュインストールを実行する必要はありません。管理者が操作しなくても、保護状態が維持されます。

システム要件

要件の最新の詳細情報については、[ナレッジベースを参照してください](#)。

Kaspersky は、実証された独立した企業で、透明性が確保されています。Kaspersky は、テクノロジーによって私たちのより良い生活、より安全な世界の構築に取り組んでいます。そのため Kaspersky は、テクノロジーがもたらす無限の機会をすべての人がすべての場所で享受できるように、そのテクノロジーを守ります。より安全な未来に向けて、サイバーセキュリティを実現します。

詳しくはこちら：kaspersky.co.jp/transparency



Proven.
Transparent.
Independent.